

## 海洋DXを推進するMarindows社、

### シードラウンドで2億円の追加資金調達を実施

～船員の働き方改革対応をはじめとする「船員課題」と事故防止のための「安全課題」の解決を実現するための各種ソリューション開発を加速させる～



Marindows 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：末次康将、以下「当社」）は、シードラウンドで総額約2億円の追加資金調達を実施しました。

引受先は井本商運株式会社、東京汽船株式会社、古野電気株式会社、三菱造船株式会社を含む合計5社です。

今回の資金調達により、当社が内航海運向けに提供する3つのコア事業、

- (1) 船員働き方改革
- (2) 船員と船舶の安全向上
- (3) 船員の健康向上

を実現させるための各種ソリューション開発を加速させると同時に、優秀な人財獲得に向けた積極投資を行なって参ります。

また、出資者である日本を代表する造船会社、船用機器会社、オペ、船主、管理会社との事業シナジーを活用することで、さらに各種サービスの使い勝手向上と、価格低廉化を加速させて参ります。概要は以下のとおりになります。

### 【創業と資金調達の背景】

島国日本の基幹物流として、国内貨物輸送のおよそ45%を担う内航海運は、

#### (1) 船員高齢化による人材課題

#### (2) 船舶の事故増大という安全課題

#### (3) 地球温暖化への対応に伴う環境課題

という解決困難な3つの大きな課題が同時多発的に直面しています。

これらの課題を解決しようとする取り組みは個々に少しずつ始まりましたが、それぞれの課題が複雑に絡み合っているため、取り組みは必ずしもうまく進んでおりません。

その複雑に絡み合った課題を解決するためには、これまでの様な取り組みだけではなく、その課題に直面している企業や、その課題を解決する技術・サービスを持つ企業が集まり一元的に解決することが求められております。

当社は、その課題を持つ企業と課題を解決に取り組む企業が集結して設立されました。

各企業が持つ課題を抽出・分析し、株主を始めとしたパートナー企業が持つノウハウやサービスを集約させ、更には最新のITテクノロジーを用いることで、「誰もが、リーズナブルな価格で、確実に」使えるDXソリューション提供を実現し、内航海運が抱える課題を徹底的に解決していきます。

この度新たに加わった井本商運株式会社、東京汽船株式会社、古野電気株式会社、三菱造船株式会社は、実際に課題を持つ当事者企業であるだけでなく、長年海事産業を支えてきた技術やノウハウを有し、また、社会そして業界の課題解決をテーマに掲げていることから理念が一致し、同社からの出資・支援を得る運びとなりました。

このような取り組みを重ねながら、内航海運の課題解決と同時に、人がより集まり、人がより輝けるような、魅力的で楽しい業界の未来を創ります。

### 【調達資金の主な使途】

今回の資金調達を得て、次の2点に重点を置き、事業展開を推進します。

#### (1) サービス開発

#### (2) 人材の採用

#### ■ サービス開発について

内航海運が喫緊で解決を求めている次の3点を解決するためのサービスを、本年10月からの開始に向けて開発を加速させます。

##### (1) 船員働き方改革

船員向けに最適化された業務サポート端末を展開致します。

同端末は、スマホを操作するように年齢やスキルに関わらず誰でも簡単に使えることに徹底的に拘りました。

来年度から施行される改正船員法で求められる労務管理アプリを備えており、勤怠入力・勤怠管理をトコトン簡単にできるUI/UXを備えています。

##### (2) 船員と船舶の安全向上

通信機能を有し、ネットワークと連携することで安全性と利便性が格段に向上した、内航標準ドラレコと、内航標準ポータブル電子海図をリーズナブルな価格で配布します。

このドラレコと電子海図によって、船舶は今よりも遥かに高い次元での安全性確保ができるだけでなく、船主やオペの業務との連携を強化することで、船主・オペ業務の効率向上にも繋げていきます。

(3) 船員の健康向上

遠隔診察、遠隔処方、ストレスチェック、デジタル船員手帳連携を備えた、船員の健康を守るためのサービスを提供します。

船員の医療格差を徹底的に解消することで、船員の労働環境を向上させます。

Marindows が提供する船員向け業務端末には、上記の各種サービスに加えて、今後も便利な機能を続々と提供していく予定です。

また、本年後半からサービス開始予定の衛星ブロードバンド通信の普及を加速させるための取り組みも進めています。こちらは改めてその概要を発表させていただきます。

■ 人財の採用について

エンジニアはもちろんのこと、セールスやコンサルタント、コーポレート部門、PR 部門まで、事業拡大に向けた優秀な人財を業界内外から広く募集して参ります。

【Marindows 株式会社 概要】

- 設立：令和3年3月3日
- 主要株主：e5 ラボ、他合計10社
- 資本金：4億330万円（資本準備金含む）
- 代表取締役社長兼 CEO：末次康将
- 本社所在地：東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング
- ホームページ：<https://www.marindows.com/>
- 活動内容
  1. 船員を中心とする人財の労務環境改善・健康維持向上
  2. 業務 DX による業務効率化・収益性向上
  3. 地球温暖化ガス排出量削減・エネルギー効率向上
  4. 海事産業と非海事産業の共創促進による新たな事業創造
  5. 上記1～4を実現するための統合プラットフォーム Marindows および周辺アプリの開発普及

【本件に関するお問い合わせ先】

Marindows 株式会社

担当 高橋

<https://www.marindows.com/contact>

**【当社 代表取締役社長兼 CEO 末次康将からのメッセージ】**

～ 内航海運の課題解決に必要なのは「競争」ではなく「共創」だ!!! ～

Marindows が提供するコアとなる事業は、「共創型、海洋 DX プラットフォームの開発と普及」です。

その第一弾として、船員向けの『労務管理』『安全向上』『健康向上』のサービスを提供します。

陸上よりも IT 導入が遅れている海運業界ですが、各種業務や課題に特化したサービスや機器などは少しずつ出てきています。その一つ一つは優れたものもありますが、それぞれの連携ができておらず、それでは課題の解決は限定的で、業界が真に必要な課題の解決には繋がらないと断言します。

高齢化問題では、例えば日本は「課題先進国」などと言われながらも、それぞれの企業が部分最適ばかりを行っていると、課題の本質を解決しない「課題発展途上国」になりかねません。

このような、個々の課題解決ソリューションを行う企業同士で「競争」することは、日本の内航海運にとっても、それらの「競争」を行う企業にとっても全く無意味であると言えます。既存のものより少し優れたものを開発し、その「競争」に打ち勝ったところで、多くの革新＝課題解決は望めません。

今回の課題当事者や課題解決サービス・製品を持つ企業が集まり、最初から「競争」せずに「共創」することができれば、内航海運にとって本当に必要な課題解決へと繋がるための革新的なサービスが提供できると信じています。

私は、この「共創」こそが日本の社会に DX 革命を起こすための唯一の方法だと信じ、それを自身が身を置く内航海運産業において証明して参ります。

みなさまにお願いがございます。

**1. 課題を抱える業界のみなさま**

みなさまの抱える課題、我々に解決させてください。

また、この「内航海運が抱える課題解決の共創プラットフォーム」への参画を心よりお待ちしております。

私どもからもお声がけ致しますので、ぜひ「共創」によって内航海運の課題を一緒に解決していきましょう。

よろしければ、みなさまからも私どもにお声がけください。

**2. 課題解決ができるサービスや技術、製品を有するみなさま**

みなさまの持つサービス、技術、製品をぜひ Marindows の共創プラットフォームに繋げてください。

一緒に一つの製品のように提供していけたら、素敵だと思いませんか？

**3. 我こそはと思う、内航海運業界に革新を起こしたいみなさま**

業界の内外、老若男女、国籍問わず、広く我こそはと思う人財を募集します。

社員としてでも、会社としてでも、また、個人事業主でも副業でも、志と能力のある方であれば全てウェルカムです。

2025年まで3年を切りました。

2025年までに共創によるオープンプラットフォーム Marindows で、内航海運が抱える課題を解決してみたくはありませんか？

未来を待つのではなく、未来を創るという志と能力のあるみなさん、

内航海運の未来のために、みなさんの力を集結させてください。

2022年3月15日 末次康将